

Louis

LHA-01

エレクトリック・ギター／ベース用
ヘッドフォンアンプ

取扱説明書

 島村楽器

次に示す注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、火災、感電、人身傷害など事故を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。また、本書はご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

警告

この注意事項を無視した取り扱いを行うと、使用者が死亡するまたは重症を負うなどの重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。
- 修理 / 部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。
- 修理は販売店に依頼してください
- この機器は音量設定により難聴になる可能性があります。音量の調整に注意し、大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

使用環境に関して

- 次のような場所での使用や保管はしないでください。
 - ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
 - ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
 - ・ 雨に濡れる場所
 - ・ ホコリの多い場所
- 本機の側に液体の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。
- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。
- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

電気、電源に関して

- 充電器は、必ず携帯電話用の5Vが出力されるものをご使用ください。
- 濡れた手でUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクターを持ってください。
- 長時間使用しないときは、十分に充電してから保管してください。
- 次のような場合は、直ちに電源をオフにし、販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 本体や入力プラグが破損したとき
 - ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
 - ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
 - ・ 機器に異常や故障が生じたとき

注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険、物的損害の発生が想定されます。

- ギター / ベース、シールド・ケーブル、エフェクターなどのケーブルの接続、取り外しはボリュームを"0"にするか、電源（POWER）スイッチを切ってから行ってください。プラグを抜き差しする際のノイズは誤作動やヘッドフォンの破損など本製品やその他の機器に深刻なダメージを与える場合がありますので必ずご注意ください。
- 小さなお子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず保護者の方が監視 / 指導してあげてください。
- 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、小さなお子様の手が届かないように配慮してください。

使用上のご注意

- 故障の原因になりますのでスイッチやツマミに必要な以上の力を加えないでください。

- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、これらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- また、至近距離から照らす照明器具や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にゴム製品やビニール製品などを巻き付けたりして長時間使用または放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

- 本製品の表面をお手入れする前に、電源をオフにして下さい。
- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。

はじめに

この度は Louis LHA-01 エレクトリック・ギター/ベース用ヘッドフォンアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

LHA-01 はエレクトリックギターやエレクトリックベースの出力ジャックに直接接続して使用できるエフェクト機能内蔵のヘッドフォンアンプです。

充電式の内蔵バッテリーで最大 5 時間の連続使用が可能な他、6 種類のアンプモデルや、サウンドに彩りを加えるエフェクト機能も内蔵しておりますので、楽器と LHA-01 だけでハイクオリティなサウンドを楽しむことができます。

また、外部入力端子も装備しておりますので、お手持ちのミュージックプレーヤーなどを接続して、既存の音楽と一緒に演奏を楽しむことも可能です。およそ 60 g のとてもコンパクトな LHA-01 は、旅先での練習用としてはもちろんのこと、ライブ本番前のちょっとしたサウンドチェックなど、様々なシチュエーションで活躍する、アクティブなギタリスト/ベーシストに最適なヘッドフォンアンプです。

仕様

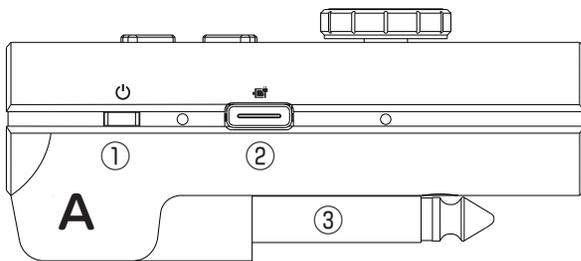
商品名	: エレクトリック・ギター/ベースヘッドフォンアンプ LHA-01
内蔵バッテリー	: 3.7V リチウムバッテリー (最大 5 時間使用可能)
出力端子	: 3.5mm ステレオヘッドフォン端子
入力端子	: 6.35mm モノラルプラグ (ギター/ベースの出力ジャックに直接接続) 3.5mm ステレオ外部入力端子
サイズ	: W43.2 × D96 × H33.5mm (製品)
重量	: 約 60g (本体)
付属品	: 保証書

※製品の仕様は品質向上のため予告無く変更する場合があります。

※取扱説明書は、PDF ファイルのみのご提供となります。紙のマニュアルは提供しておりませんのでご了承ください。

各部の名称と機能

左側面



① 電源ボタン

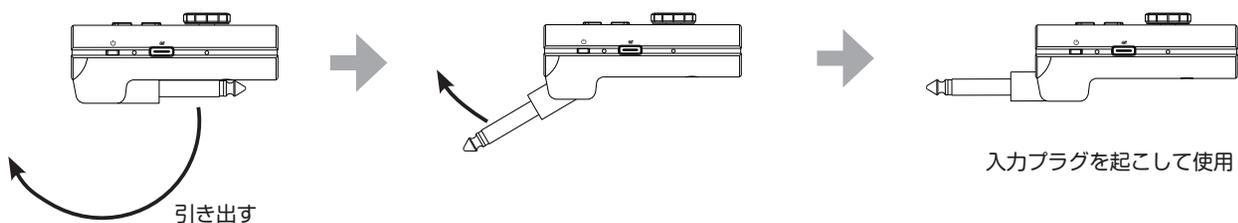
LHA-01 の電源をオン/オフするボタンです。このボタンを 3 秒長押しすると電源がオンになります。電源がオンの状態でこのボタンを 3 秒長押しすると、電源がオフになります。※ 5 分以上音声入力がない場合は、自動的に LHA-01 の電源をオフにするオートパワーオフ機能を搭載しております。

② USB-C 端子

LHA-01 を充電するための USB-C 端子です。市販の USB-C ケーブル (別売) を接続して携帯電話用の充電器 (別売) に接続して本体を充電してください。なお、本体の電源がオンになっている状態では充電されませんので、充電の際は電源をオフにしてから充電を行ってください。

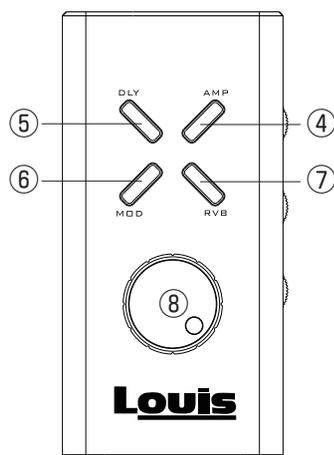
③ 入力プラグ

エレキギターやエレキベースの出力端子に接続するための入力プラグです。図中 A の部分を支点にプラグ部分を回転させて引き出してから接続します (下図参照)。エレキギターやエレキベースの出力端子の形状に応じて、引き出し角度を調節してご使用ください。



入力プラグを起こして使用

上面



④ AMP ボタン

ヘッドフォンアンプのアンプモデルを選択するボタンです。ボタンを押すごとにアンプモデルが切り替わり、ボタンのLEDの色が変わります。各LEDの色とアンプモデルの関係は下記のようになります。

LEDの色	アンプモデル	サウンド
グリーン	Clean	エレキギター用クリーンサウンドです
ブルー	Overdrive1	オールマイティーに使えるオーバードライブサウンドです
レッド	Overdrive2	伝統的なヨーロッパ系オーバードライブサウンドです
シアン	Distortion1	ハードロックに最適なディストーションサウンドです
イエロー	Distortion2	ハイゲインアンプをシミュレートしたディストーションサウンドです
ピンク	Bass	オーソドックスなベースアンプのシミュレートです

⑤ DLY ボタン

ディレイ（エコー）エフェクトを切り換えるボタンです。ボタンのLEDが消灯状態ではディレイがかかりません。LEDが点灯した状態では、LEDの色ごとに下記の6種類のディレイが選択できます。

LEDの色	ディレイタイプ	サウンド
グリーン	Warm Echo	アナログディレイをシミュレートしたオーソドックスなディレイです
ブルー	Pure Echo	デジタルディレイをシミュレートしたシャープなディレイです
レッド	Tape Echo	テープエコーをシミュレートした暖かみのあるエコーです
シアン	Mod Echo	ピッチに揺らぎのあるディレイサウンドです
イエロー	Dark Echo	フィルターがかかった特徴的なディレイサウンドです
ピンク	Slapback	ショートディレイによる残響的なディレイサウンドです

⑥ MOD ボタン

モジュレーション（周期的な変化）エフェクトを切り換えるボタンです。ボタンのLEDが消灯状態では効果がかかりません。LEDが点灯した状態では、LEDの色ごとに下記の6種類のモジュレーションエフェクトが選択できます。

LEDの色	ディレイタイプ	サウンド
グリーン	Chorus	複数のギターで演奏している様な重厚なサウンド、または12弦ギターの様なサウンドが得られるエフェクトです
ブルー	Rotary	オルガンなどに使用される回転スピーカーをシミュレートしたエフェクトです
レッド	Tremolo	音量を周期的に大きくしたり小さくしたりするトレモロ効果が得られるエフェクトです
シアン	Vibrato	ピッチに周期的な揺らぎを持たせるエフェクトです
イエロー	Flanger	ジェット機が上昇したり下降したりするようなピッチ変化をするサウンドが得られるエフェクトです
ピンク	Phaser	位相干渉によるシュワシュワといったサウンドが得られるエフェクトです

⑦ REV ボタン

リバーブ（残響）エフェクトを切り換えるボタンです。ボタンのLEDが消灯状態ではリバーブがかかりません。LEDが点灯した状態では、LEDの色ごとに下記の6種類のリバーブが選択できます。

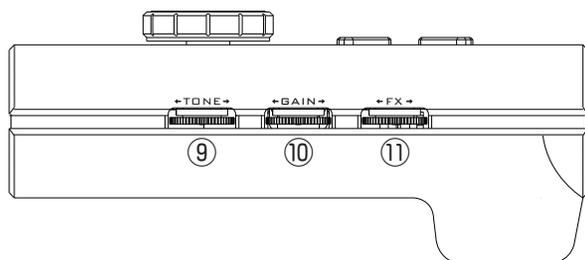
LEDの色	ディレイタイプ	サウンド
グリーン	Studio	明るく短めなスタジオの残響をシミュレートしたリバーブです
ブルー	Room	少し暖かみのあるルームリバーブです
レッド	Hall Bright	コンサートホールの残響をシミュレートしたリバーブです
シアン	Hall Dark	暖かみの深めのホールリバーブです
イエロー	Church	教会で演奏している様な深めの残響が得られるリバーブです
ピンク	Plate	レコーディングなどで使用される鉄板（プレート）を用いたリバーブエフェクトのシミュレートです

※②、③、④のボタンは、点灯中に3秒以上長押しするとエフェクトをオフの状態にできます。なお、再びボタンを押したときは、緑色のLED点灯状態になります。

⑧ ボリュームツマミ

LHA-1の音量（ヘッドフォンの音量）を調節するツマミです。時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと小さくなります。反時計回りに回しきった状態では音が出なくなります。

右側面



⑨ TONE (トーン) ツマミ

LHA-01 のトーンを調節するツマミです。下図の様に TONE の T の文字の方向に回すと音色がブライツになり、E の文字の方向に回すと丸みのある音色に変わります。



⑩ GAIN (ゲイン) ツマミ

各アンプモデルのプリアンプゲインを調節するツマミです。下図の様に GAIN の G の文字の方向に回すとプリアンプのゲインが上がり、N の文字の方向に回すと下がります。クリーン系のアンプモデル (BASS 含む) では音量が上下し、歪み系のアンプモデルでは歪みの量が上下します。



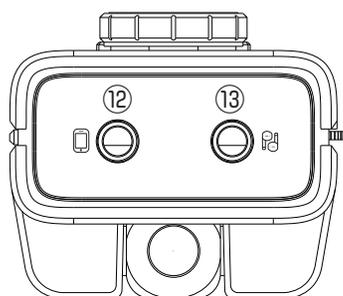
⑪ FX ツマミ

このツマミは⑤、⑥、⑦のボタンでオン/オフできるエフェクターの効果を調節するツマミです。このツマミを操作する前にどのエフェクトのパラメーターを変更するのか選択する必要があります。現在どのエフェクトのパラメーターを調節しているのかを確認するには、⑤、⑥、⑦の LED が点滅しているかどうかをおこないます。例えば⑥の DLY ボタンの LED が点滅している状態では、ディレイの遅延時間 (ディレイタイム) を調節できます。この状態からモジュレーションエフェクトのパラメーターを調節したい場合には、⑥の MOD ボタンを一度押して点滅させます。MOD ボタンが点滅している状態では、⑪の FX ツマミがモジュレーションエフェクトのパラメーター調節に切り替わります。このように、常に点滅しているエフェクトのパラメーターを調節できるようになっています。各エフェクトと変更されるパラメーターの関係は、下の表を参照してください。なお、いずれの場合も FX の F の文字側に回すと効果が深く (ディレイタイムなどは長く) なり、X の文字側に回すと効果が浅くなります。



エフェクトボタン	FX ツマミで変更されるパラメーター (変化する幅は選択したエフェクトタイプごとに異なります)
DLY	ディレイタイムとフィードバック (リピート回数)
MOD	モジュレーション周期と深さ (Phaser のみ周期だけが変化)
REV	原音/エフェクト音のバランス

底面



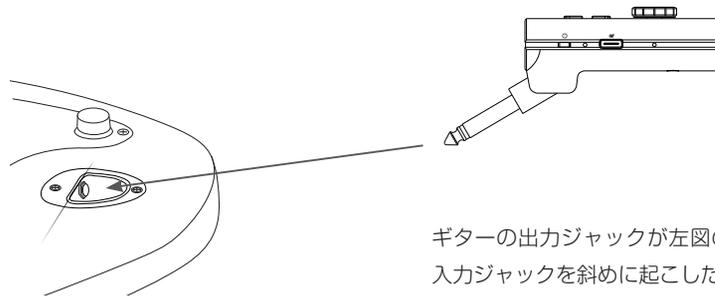
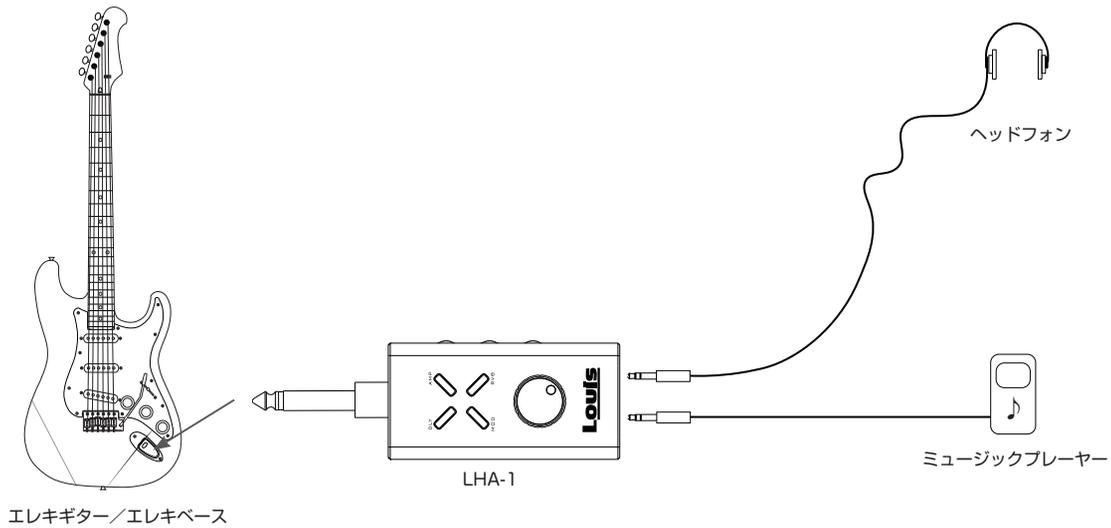
⑫ 外部入力端子

お手持ちのミュージックプレーヤー (別売) などを接続する端子です。3.5mm のステレオフォンジャックのケーブル (別売) を使用して接続し、ミュージックプレーヤーを再生してください。⑬のヘッドフォン端子に接続したヘッドフォンからギター/ベースの音と一緒に聞くことができます。なお、⑫に接続した音楽の音量調節は、ミュージックプレーヤー側で行って下さい。

⑬ ヘッドフォン端子

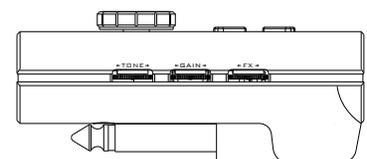
3.5mm のステレオフォンジャックのヘッドフォン (別売) を接続する端子です。LHA-01 の音と⑫に接続した外部入力の音を一緒に聞くことができます。※ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続したまま LHA-01 の電源をオンにした状態で入力ジャックを抜き差しすると、ノイズの発生によりヘッドフォンを壊したり、耳を痛める可能性がありますので、LHA-01 を楽器から着脱する際は、必ずヘッドフォンを外し、電源をオフにしてから行って下さい。

■ セッティング例

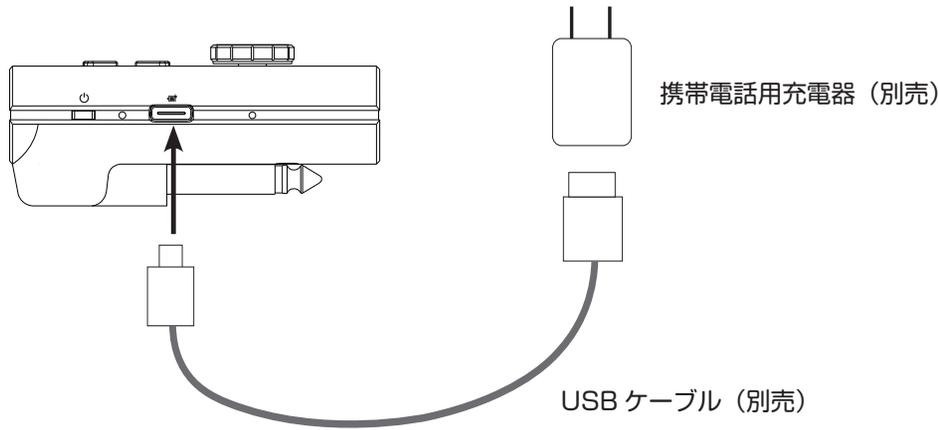


■ 使用方法

1. ギター／ベースへの装着が済み、上記の様にヘッドフォンを装着（ミュージックプレーヤーの接続は任意です）したら、⑧のボリュームツマミを左に回しきった状態にしてから①の電源ボタンを長押しして電源を入れます。
2. ⑨および⑩のツマミを両方とも右に回しきった状態にします。
3. ギター／ベース本体のボリュームが上がっていることを確認したら、演奏しながら徐々に①のボリュームツマミを右に回していき、程よい音量のところで止めます。
4. ④の AMP ボタンを押してお好みのアンプタイプを選択します。
5. ⑤、⑥、⑦のボタンを押して好みのエフェクトを選択します。（使用していないエフェクトのボタンは消灯した状態になります。）
6. ⑤、⑥、⑦のいずれかのボタンを点滅させた状態で、⑪の FX ツマミを調節し、好みのエフェクト設定にします。（DLY を選択して FX ツマミを調節した際「キューン」という音が発生しますが、これはディレイタイムが変わる際に発生する音ですので故障ではありません。）
7. 使用を止める際は、⑧のボリュームツマミを左に回しきり、音量を 0 にしてから①の電源ボタンを長押しして電源を切ります。その後、ヘッドフォンをヘッドフォン端子から外し（ミュージックプレーヤーを接続している場合はそのケーブルも外す）てから、本体をギター／ベースから取り外します。
8. 入力ジャック部分を本体側に折りたたんでから保管してください。



充電方法



図のように②のUSB-C端子にUSBケーブル(別売)を接続して充電を行います。本体のバッテリー残量が無くなると、④のAMPボタンが点滅を始め、しばらくすると本体の電源がオフになります。電源をオンにした際に④のAMPボタンが点滅している場合は、速やかに充電を行って下さい。また、バッテリーが完全に放電してしまうと充電されなくなるなど故障の原因になりますので、長期間使用しない場合は必ず十分に充電してから保管するようにして下さい。

なお、充電器と接続しても充電されない場合は、充電器がLHA-01に対応していない可能性がありますので、別の充電器をお試し下さい。また、電流量が多く出力される高容量タイプの充電器、特にUSB-C出力の充電器を使用すると、LHA-01の安全回路が働き、充電ができない場合があります。USB接続を行っても充電が行われない場合は、安全回路が働いている可能性がありますので、充電器を変更するかUSB-CからUSB-Aに変換するアダプターを介してから充電をお試し下さい。

故障かな?と思ったら

故障かなと思ったら、修理に出す前に下記の事項をお試し下さい。

■音が出ない

- ・ボリュームツマミが左に回しきった状態になっていませんか?
→ボリュームツマミを徐々に右に回してみてください。
- ・GAINツマミが左に回しきった状態になっていませんか?
→アンプタイプによっては左に回しきった状態だと音が出ません。少し右に回してGAINを上げてください。
- ・ギター/ベース本体のボリュームは上がっていますか?
→ギター/ベース本体のボリュームを上げてください。
- ・入力ジャックは確実にギター/ベースに接続されていますか?
→今一度差し込み具合を確認して下さい。
- ・ヘッドフォンは接続されていますか?
→本製品にスピーカーは搭載されていません。必ずヘッドフォンをヘッドフォン端子に接続してお使いください。
- ・アクティブピックアップのエレキギター/ベースをお使いの場合、ギター/ベースの電池残量は十分ですか?
→ギター/ベース本体の内蔵電池を新しい電池に交換してください。

■電源が切れてしまう

- ・AMPボタンが点滅していませんか?
→バッテリーの残量が少なくなっていますので、直ちに充電してください。
- ・ギターなどを弾かない状態(LHA-01に音声入力が無い状態)が5分以上続いていますか?
→オートパワーオフ機能によるものです。無音状態が5分以上続かないようにしてお使いください。